



福岡県立大学と 其に志む会会報



平成 30 年 3 月 1 日
第 284 号

発行責任者 秋吉 一明
編集責任者 重藤 和巳

公共社会学科の卒業論文公開発表会を傍聴しました

去る 2 月 6 日(火) 13:00 より、3 号館 3207 教室にて行われた標記発表会を傍聴した。美谷先生のゼミ生の発表を聞いてさまざまなことが頭をよぎった。

研究内容は、「佐賀県鹿島市の観光振興」、「柳川市を事例に中小市町村における下水道事業の現状と課題」、「篠栗町における街づくりに関する住民意識調査」などで 7 人の学生さんの発表を聞いた。どの学生さんもさすが公共社会学科と言うだけあって現場に赴き、資料をかき集め、またはアンケート調査や聞き取りをしっかりと行い、データを整理し、そして課題を抽出したなかなかの研究発表であった。鹿島市の「がたりんピック」の更なる発展を模索し、一過性のイベントから「景観雰囲気」を重視する観光政策が必要と提案。柳川市の公共下水道では普及につれて掘割への放流量が増加し、その結果水質が改善され、観光客数が増えたと現状を分析。篠栗町の住民意識調査ではもともと住んでいる住民と新住民との間に壁が出来ている。それは近隣住民への意識・つながりや地域への帰属意識に関係していると結論づけている。

久しぶりに大学の教室に座って若い学生さんの発表を聞かせてもらった感想を少し。

- ①県大の学生さんはほんとうにまじめだなあ～。
- ②公共社会学科だけあって視野が社会に向かっていているように思えた。
- ③クロス分析など統計や IT を使いこなして分かりやすい発表が出来ている。いわゆるアクティブラーニングを身につけておられる。
- ④皆さんレベルの高いプレゼンテーションをしており、下手！と言う学生がいなかった。
- ⑤ゼミの人数が少ないせいかみな和気あいあいといい雰囲気であった。

思わず、マンモス教室であまり顔も覚えてない同級生と学んだ学生時代のことを思い出し、ほろ苦い気持ちで発表会を聞き終えた。

また、当たり前の話ですが、社会経験の無い若き学生さんの限界かもしれないが、発表は現状分析止まりで、その後の考察、問題解決の提案が少なかったようで、もう一歩踏み込んだ分析、提案がなされるといいなあと感じた。卒業後の更なる研鑽に期待したい。

改めて都市計画をテーマに研究した自分の卒論を見てもよと思う。

ただ、このような経験、体験は一生の中で非常に重要で、社会を見る目が深まると確信しています。

振り替えて田川の現状を見るに、市民の皆さんにこのような経験をする場が準備されていない。活性化協議会や区などが社会の芽を育てる場、「ワークショップ」や「まちづくり放談会」などを主催し、市民意識を高めてゆく作業が欠かせない。25年前、県大が出来たときの大学設立の目的の一つに地域の活性化、筑豊の浮揚が掲げられていた。今こそ大学の力をお借りしてこの作業を実践する必要があると実感した次第。

報告：植木

留学生送別会

大学主催送別会

2月1日17:45より県立大学の附属研で大邱韓医大学校・三育大学・吉林大学珠院の3校の各5名・2名・3名の合計10名の送別会が行われました。大学の教職員や学生チューターなどと筑豊市民大学の方々と共に歩む会が参加しました。



研究所
海学

柴田学長理事長は学長室でお話しをして、玄関前ロビーで離学式の挨拶をしたので今日はもうネタ切れと言っていました。みんな福岡県立大学に留学した経験を生かして帰国してからも、頑張ってください。



共に歩む会主催送別会

2月5日18:00から日の出町の Chiika で 共に歩む会主催の送別会をしました。留学生に向けて「母国と日本のかけはしになってください」、



「再会を楽しみにしている」との声がありました。昨年南京にご一緒した新入会員の大前さんから、立派な日本人形のプレゼントがあり、じゃんけんで勝った順に好きな御人形を頂いていきました。帰国してからもいい思い出になると思います。



(報告 重藤)

陸 敏 さん だんな様を連れて 田川に帰郷

南京師範大学から2010～2011年留学していた陸敏さんが2月21日ご主人と幼馴染の3人で春節（正月）休みを利用して田川にやってきました。

沖縄、鹿児島、長崎、湯布院など10日くらいの旅だそうで、時間を割いて田川に里帰りしてくれました。

14ヶ月のお子供さんがいるようで、両親に預けて来たそうです。

敏さんは外国語学校を経営しだしたそうで、元気に活躍している様子。何よりです。

この次は可愛い娘さんも一緒での再開を誓いました。



つれづれなるまま

副会長 植木康太

まちおこし応援団

最近こんな言葉をよく耳にする。地域の発想の限界を認めてか、国が地域に若者を派遣する制度。いわゆるよそ者、都会の若者の発想に期待して、地方の自治体が短期間（1～3年）採用し、商店街や役所の活性化を図ってもらうため、提案や実践をしてもらう制度。

単身、裸でやってきて、己の持っているノウハウを提案、地域の住民を巻き込んで実践してゆく。お互いの価値観をぶっつけあいながら、何かを成し遂げようとする。

斬新か軋轢か・・・？そこに何が出来上がるか？

地域創生補助金

1年ポッキリの国の補助金で、ハード・ソフト、さまざまなメニューが有る。

田川市も負けじとパブリカ栽培施設、ジビエ加工販売、伊田駅舎改築（ホテル、レストラン、cafe、物産店など）などに取り組んでいる。

使わにゃ損損と全国の自治体が喰らい付く。活性化のために何もセンより何かシタほうがいいと・・・。

しかし、補助割合は半分足らずで、住民の税金も出てゆく。

小生の信念は、観光も街づくりも住んでいる人々が自ら頑張り、元気で楽しく、生き活きと生活する事が原点と・・・。

毎日複雑な思いが脳裏をモヤモヤ・・・。

もう一つ

最近不思議なことが・・・

昨年の10月に学長さんに全学生さんへの「YOU・遊・マップ たがわーど」配布をお願いした件、伊田町でバイトをしてる県大生に「もらった？」と聞くも、「?????」、「それって入学した時にももらった本？」と。いえいえ、昨年10月に完成した第5版、20年目の完成版、もらってないの・・・。
わけわからん・・・???

これからの行事

◎入学式を飾るプランターの花植え作業

3月11日(日)15:00～

大学旧門に集合

終了後 ご苦労さん会

◎卒業式

日時：3月16日(金)

◎県立大学入学式

4月4日 10:00 管理棟玄関集合

花籠、会報、you・遊・マップたがわーるど等の配布作業をします。お手伝いをお願いします

◎大邱韓医大学・三育大学・吉林大学珠海学院 交換留学生歓迎会

4月6日に吉林大学珠海学園の留学生が

4月9日に大邱韓医大学と三育大学の留学生が(まだ時間調整中)県立大学に来ますので歓迎会をしたいと思います。(計画中!)

◎大学・住民 交流会

5月中旬・・・?

◎街灯調査

県立大学自治会と日時調整中

◎共に歩む会 25周年シンポジウム

国際交流協会設立に向け、市民の関心を高め、準備委員会を作る。

◎留学生 別府阿蘇、九州満喫の旅

3月21日～22日

次回定例会

日時：3月12日(第二月曜)午後7時より

場所：福岡県立大学 2号館 2F 地域文化資料室

